

11月1日~14日は、「いすみ市津波防災週間」です！

令和3年度 いすみ市津波避難訓練は、コロナ禍の状況を踏まえて、市民参加型ではなく、市内全域で市役所と消防団のみでの実施（11月13日）となります。

「いすみ市 津波防災週間」内に、自宅・職場等の近傍にある津波緊急避難場所及び避難所への経路、
「チェックリスト：備え10項目」を確認し、災害に備えましょう。



わが家の防災マップを作ってみよう！

実際にまちを歩いて「防災マップ」を作ると、災害がおきた場合に「あそこは危険」とか、「避難のときはあの道を通ろう」といった具体的なイメージをつかむことができます。

災害時に家族全員が安全に避難できるよう、防災マップを作成してみてもいいでしょうか。

①地図を用意しよう



市で発行している「津波ハザードマップ」、または、市のホームページに掲載している「津波ハザードマップ」より確認できます。

②自宅と避難する場所に印をつけよう

※津波緊急避難場所と避難所の違い

津波緊急避難場所は、津波警報等が発表または津波襲来が予想されるとき、生命の安全を確保するため一時的に避難する場所です。避難所は警報等が解除されたあと、一定期間避難する生活の拠点となる場所です。

③避難経路に色をつけよう

いくつかルート进行想定してみましよう。

- 1, 最短のルート
- 2, 広い道を通るルート
- 3, 危険箇所が少ないルートなど



④避難経路を歩いてみよう

危険箇所や災害時に役立つ場所（消火栓・防火水そうなど）の色分けやマーキングをしたり、写真を撮っておくことも効果的です。



⑤避難経路を見直そう



安全と考えたルートも、実際に点検してみると、危ないところがたくさんあるかもしれません。その時は、新しいルートを考えてみましょう。



令和3年度いすみ市

「チェックリスト: 備え10項目」



非常時持出品や備蓄品の準備は防災対策の基本となります。乳幼児や妊婦、高齢者など家族構成に合わせた準備が大切です。このチェックリストに☑を入れて確認してみましょう！！

【減災及び安全の確保】

☐ タンス、テレビ、食器棚等は、しっかり固定していますか。



☐ 津波緊急避難場所と避難所への避難経路は事前に自分で歩いて確認していますか。



☐ 懐中電灯・警笛・スリッパ（靴）を寝室に準備していますか。

☐ ガラス飛散防止フィルムを貼付していますか。



【情報の入手及び連絡手段の確保】



☐ スマートフォン（携帯電話）やラジオは予備電池も準備していますか。

☐ 家族の連絡方法と合流場所は決めていますか。

☐ いすみ市防災メールに登録していますか。

登録していない方は、下記より登録できますので、ぜひ登録ください。

(<https://service.sugumail.com/isumi/member/>)



【発災後の生活】

☐ 常備薬は最低1週間分準備していますか。

☐ 非常持ち出し袋（防災リュック）は各自で準備していますか。

☐ 最低3日（推奨1週間）分の非常食・保存水は自宅に備蓄していますか。



全ての防災は事前対策にあります。
安全安心は準備に比例します。

